
空虚の天使は舞い降りました。

結城舞灯

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空虚の天使は舞い降りました。

【コード】

N2024U

【作者名】

結城舞灯

【あらすじ】

物語は畢り無き続く果ての無い闇の中で永遠に紡がれていく…

他者を信じる事が出来ず、他者を疑わなければ生きていけない。思いを空にしなければ、空虚の天使は生きる事を止めてしまつてしまう。よう。

しかし、空虚の天使は人道を生きています。人としての…生き物としての感情を持っています。他者の事を信じようとすれば不安が横切り、他者を疑えば後悔する。それだけを繰り返しながら毎日を過ごしていました。

全てが全て悔やむ事ではないのですが、空虚の天使は自分の生きる道を知る事が出来ません。その為、何にでも後悔してしまうのです。いつも自分を責め、公開の渦に飲まれ、涙を流して過ごしています。

誰かが進みべき道を教えてくれる訳でもありません。誰かが悲しみの渦から救ってくれる訳でもありません。空虚の天使が生きていくには、他者を信じず他者を疑い、自分の身を守れないのです。

時が経てば人も変わる。季節が移り変われば、人の気持ちも変わる。しかし、空虚の天使はそれを待つ事が出来ません。

次々に他の問題が音を立てて後を押してやってくるのです。前へ行かなければならない。しかし、他者を拒否し続ければ、問題は増える一方なのです。

心はいつも揺れ動き、休める時等訪れない。いつの間にか他者の考えに押しつぶされそうになり、重く苦しく、永遠にでも思える程

長い時間を生きているように思える。

何時かは人に“死”と言うものが遅かれ早かれ訪れる日が必ず来る。諦めて死ぬ事も出来ない空虚の天使は、永命にも思える人生を生きていくのである。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2024u/>

空虚の天使は舞い降りました。

2011年10月9日07時29分発行